

「彦根市ロケーション誘致アンバサダー」誕生！！

彦根市は、彦根城を始めとする多くの史跡、良好な景観を残した街道、街並みなどの歴史文化遺産、琵琶湖の水辺に代表される豊かな自然環境などの魅力的なロケーションに恵まれています。

こうした魅力的なロケーションを生かして、映画

やテレビドラマなどの映像作品の撮影を積極的に誘致し、市の地域活性化と知名度の向上を図るため、このたび映画プロデューサーの鍋島 壽夫 (なべしま ひさお) さんを「彦根市ロケーション誘致アンバサダー」として委嘱しました。

問 フィルムコミッション室
☎ 30-6153 FAX 24-9676



委嘱式の様子

《鍋島さんについて》

これまで数多くの映画制作に携わり、「関ヶ原」や「燃えよ剣」といった、彦根市でロケが行われた映画にも数多く関わっておられます。

彦根市フィルムコミッション室では、鍋島アンバサダーのお力を借りながら、さらに多くの映像作品のロケ誘致に取り組んでいきたいと考えています。

※広報ひこね7月号では「映画のまち ひこね」を特集します。特集の中で市長と鍋島アンバサダーの対談記事も掲載予定ですので、お楽しみに！

彦根城は、知れば知るほど、オモシロイ。

未来に残そう みんなのお城 -vol.8-

彦根城を世界遺産に



江戸時代 彦根城ではどんな政治をしていたの？

問 彦根城世界遺産登録推進室
☎ 26-5833 FAX 26-5899

お城は「戦い」の場所？

戦国時代までのお城は「戦いの場」であり、その時代の政治は、殿様個人の判断で決定されていました。よって、その政治の良し悪しは、殿様の能力に左右されました。



わしが、決めるぞ

「平和のための政治決定の場所」へ

平和が訪れてからのお城の役割は、軍事基地という役割に加えて、政治を決定する役所としての役割を持つようになり、やがてこちらの役割が中心になっていきます。江戸時代からの政治は、家老たちの話し合いの結果を、殿様が決裁する方法に変わりました。

社長（殿様）の独断によるワンマン経営をさせないための企業の取締役会や執行役員会と同じ仕組みで、やっと平和になった世の中が、だれが殿様になっても変わることがないようにした当時の日本の大発明です。



▲当時の政治の決定方法



▲キンクロハジロくん

お城いうたら、やっぱり「戦い」のイメージあるわ〜。

織田信長なんかはこの代表例だね。



▲ハクチョウ隊長

戦国時代までは、殿様によるワンマン経営だったのね。



▲カルガモさん



みんなの意見を取り入れて平和に！